

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

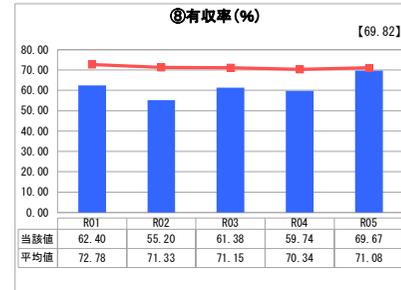
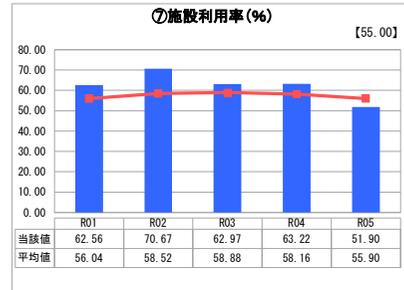
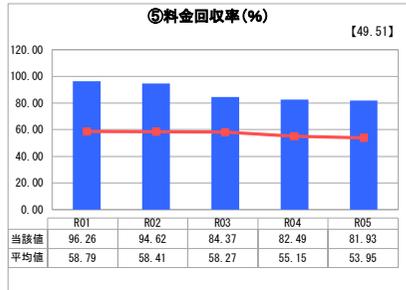
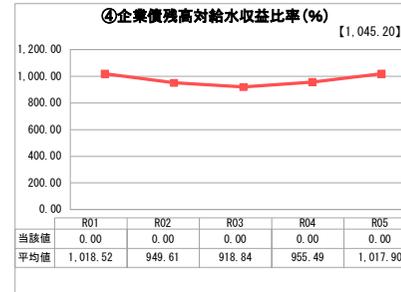
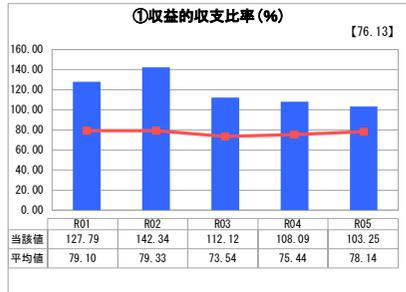
宮城県 高千穂町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	38.06	2,684	

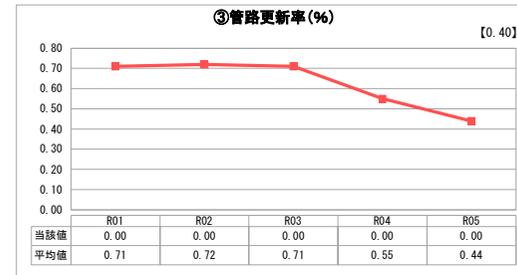
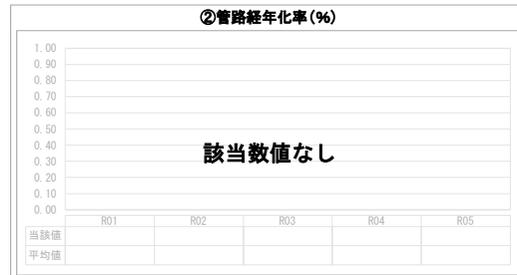
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,038	237.54	46.47
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,145	36.00	115.14

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①「収益的収支比率」は100%以上を維持しているが年々低下傾向にある。加えて、一般会計からの繰入金で賄っている部分が多いため料金の見直しを検討していかなければならない。

②「料金回収率」も収益的収支比率と同様に年々低下傾向にあり料金の見直しを検討していかなければならない。

③「給水原価」が低水準を維持しているのは、極端な人員不足のため施設等に対して必要な費用がかけられていない結果である。

④給水人口の減少は事実であるが、施設等が町内全域に散在しており施設の統廃合等が困難なため「施設利用率」は今後も低下すると思われる。

⑤「有収率」は類似団体と比較して低い。その原因の一つは施設等の老朽化に伴う漏水と考えられるため施設等の適正な維持管理のために更新計画作成を検討しなければならない。

### 2. 老朽化の状況について

施設等のほとんどが老朽化していることは間違いないが資料等が乏しく全体を網羅した正確な状況把握はできていない。

## 全体総括

未だ簡易水道事業の経営統合が完了しておらず、早期の統合も諸般の事情により困難な状況であるため、一つの事業としての経営改善策の検討ができない状況である。

また、施設等の適正な維持管理に対応していかなければならないと思われるが、人員不足や基礎資料の散逸により困難な状況にある。